



地域と医療のコラボレーション

ハーモニー

Harmony ♪

第12号

2008 / MAY

発行 / 医療法人社団協友会 東大宮総合病院

編集 / 広報委員会

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614

<http://www.higashiomiya.or.jp/>

特集

DPC導入について

平成20年7月1日より当院の入院医療費を、包括評価による「定額払い」という新しい会計方式「診断群別定額払い方式（DPC）」に変更いたします。

この会計方式は、平成15年度から大病院や国立病院などの高度先進医療を行っている特定機能病院を対象に実施されておりましたが、厚生労働省の事前調査に協力してきた一般医療機関のうち一定の基準を満たした病院が施行する事になり、当院でもDPCによる入院医療費の会計方式を導入することになりました。

現在当院では、診療内容ごとに計算する「出来高払い方式」となっております。「DPC方式」はこれと異なり、入院患者様の疾患ごとに厚生労働省で決められた、1日当たりの入院費用に手術やリハビリなどを組み合わせて診療費を計算する方式です。入院中のお薬や注射の量、検査やレントゲンの回数にかかわらず、医療費が「1日当たりの定額」となります。入院診療費は「1日当たりの定額」×「入院日数」で計算されます。一部負担金の支払い方法は、従来と基本的には変わりません。ただし、入院後患者さまの症状や経過や治療内容等によって、入院当初に確定した診断分類とは異なってしまう場合もあり、一部請求額が変更となるため、退院時等に前月までの支払い額との調整をすることがあります。

このDPC制度の対象となるのは、病気や治療内容に応じて分類されている診断群分類のいずれかに、患者さまの病気が該当すると主治医が判断した場合です。

病気がこの診断群分類のいずれにも該当しない場合は、従来の「出来高払い方式」の計算方法となります。

また、保険の種類によってDPC制度の適応が決まります。健康保険（政府管掌・組合管掌等）、船員保険、各共済保険、国民健康保険の加入者及び生活保障の方々が包括評価による新しい計算方法の対象となります。ただし、長期入院の患者さま、労災保険、自由診療（交通事故を含む）の方は、従来の「出来高払い方式」の計算方法となります。

何かご不明な点がありましたら、会計窓口へお声かけください。



東大宮総合病院 医事課 係長 清水 祐二

DPC会計方式のイメージ

今までの会計方式

DPCの会計方式

手術
リハビリ
胃カメラ等

手術
リハビリ
胃カメラ等

従来通りの会計

検査・注射
お薬
X線検査
入院基本料

1日当たりの包括点数
× 日数

包括

※上記のように、手術やリハビリ等は、従来の請求と同じく出来高となります。また、検査・注射・お薬等は1日当たりの包括点数に含まれる事になります。

診療科だよりの

消化器内科



消化器内科 部長
風間 博正

平成13年より当科を主幹しております風間です。これから当科についてご紹介いたします。現在、5名の専属医のもとで日々診療に取り組んでおります。当科は日本消化器病学会認定施設および日本消化器内視鏡学会指導施設であり、医師およびスタッフの育成に特に力を入れております。

食道・胃・十二指腸・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・胆管・膵臓などの消化器系臓器を全て扱い、診断から治療まで迅速に行う中で、日々最新の検査・治療を心がけて取り組んでおります。入院患者さまに対しては、治療が適切であるか、スタッフ全員で週に1度、合同カンファレンスを行っております。また、外科とは週1回の合同検討会（内科・外科カンファレンス、内視鏡検討会、術前術後カンファレンス）を持ち、常に連携して診断から治療までの期間短縮に努めております。

内視鏡センター

現在、年間5000件を超える内視鏡検査および治療を行うため、平成20年より内視鏡光源が並列となる電子ハイビジョン内視鏡装置・NBIシステム（色素内視鏡と同等のコントラストを瞬時に得られる）を導入した内視鏡センターを設立致しました。ファイバーは最新のハイビジョンスコープ（上部×3本・下部×3本）・超細経鼻内視鏡も常備しています。

当センターの特徴として、大学病院をはじめとする基幹病院でもほとんど行われていない、多忙な患者さまに対応した上下部内視鏡の同日施行の実施（半日）が、好評を得ています。また、苦痛のない内視鏡検査を常に行う間に迅速に検査を終えることも好評です。

消化管出血など緊急内視鏡が必要な場合でも、即時対応できる体制をとっております。空腹で来院して頂いた方（開業医からのご紹介患者さま等）に対しては、当日の内視鏡検査実施を心がけております。

経鼻内視鏡

一般的に口から行う経口内視鏡（胃カメラ）検査では、喉の奥にある舌の付け根（舌根）にスコープが接触するため、咽頭反射が起きて吐き気をもよおします。一方、鼻からの内視鏡検査「経鼻内視鏡」では、直径約5ミリメートルと鉛筆より細いスコープを用い、舌根に触れることなく食道や胃に到達するため、不快感・吐き気をほとんど感じることなく検査を受けることができます。また、検査中、医師との会話ができる安心感もあります。しかし、鼻腔の狭い患者さまには不向きな場合もあります。当院内視鏡センターでは患者さまのご意見やご要望に沿えるように経鼻内視鏡を導入し、内視鏡の選択を可能にしました。ご希望の方は、担当医へお気軽にご相談ください。

左記の内視鏡治療を積極的にを行っています

- ① 胃・十二指腸潰瘍などからの出血に対する止血術
- ② 早期食道癌・早期胃癌・早期大腸癌に対する粘膜切除術
- ③ 胃・大腸ポリープなどに対する内視鏡的ポリープ切除術
- ④ 食道・胃静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法、静脈瘤結紮術
- ⑤ 食道癌などの消化管悪性狭窄等に対するステント留置術
- ⑥ 術後吻合部狭窄などの消化管良性狭窄に対するバルーン拡張術
- ⑦ 食道内異物や胃内容物に対する異物除去術
- ⑧ 嚥下障害のため経口摂取が困難な方に対する内視鏡的胃瘻造設術
- ⑨ ダブルバルーン法による小腸疾患に対する診断と治療
- ⑩ 閉塞性黄疸（総胆管結石 悪性腫瘍等）に対する内視鏡的ドレナージ術（砕石排石 ステント挿入）



より良い病院をめざして

■□■ がん化学療法室 ■□■

近年がん化学療法は入院から外来へと移行し、在宅での投与も行われるように変化してきました。当院においても医師をはじめ看護師、薬剤師がチームを組み、化学療法を受ける患者さまに安全な医療を提供できるような取り組みを実施してきました。

この度、抗がん剤治療を快適な環境下で受けていただけるように専用の化学療法室を立ち上げることができました。大自然を思わせるような空間の中、電動式リクライニングチェアを配置し、専任の看護師が治療中の患者さまの状態を観察していけるようにしています。まだまだ行き届かない点は多数ありますが、今後も患者さまに、より専門的で安心・安全な医療を提供できるようなチーム医療を目指していきます。



■□■ NST 専門療法士 ■□■



当院ではチーム医療の一環として栄養改善をサポートするチーム（NST）が立ち上がっています。このたび資格取得により5名のNST専門療法士が誕生しました。5名の職種は看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師と多職種にわたり、今後栄養改善が必要なさまざまな患者さまに対して看護・栄養・薬剤・検査のそれぞれの分野から栄養をサポートすることが出来ます。

NST専門療法士になるには、認定された学会や教育セミナーへの参加、規定の臨床実習を経て、認定試験に合格後、資格取得となります。取得した資格を生かし、それぞれの職種の特性を發揮しながら、院内での栄養改善に効果が出せるようなチーム医療を進めていきます。

平成20年度 新入職員

4月より52名の新入職員が仲間入りしました。

看護師	24名
薬剤師	5名
理学療法士	4名
作業療法士	6名
臨床工学技士	2名
臨床検査技師	2名
放射線技師	1名
管理栄養士	1名
社会福祉士	1名
診療情報管理士	1名
事務	5名

4月1日付けで入職し、本部研修を終え、当院でのオリエンテーションを経て各業務に当たっております。

まだまだ未熟な新入職員ですが、東大宮総合病院の一員となって頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



訪問介護

ホームヘルパーがご自宅まで訪問し、介護や家事援助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

- 身体介護：食事の介助／入浴・更衣の介助／身体清潔／排泄の介助やおむつ交換／体位交換の介助／通院・外出の介助
- 家事援助：掃除や整理整頓／洗濯／買い物／布団干し／食事調理・配膳・片付け など

お問い合わせは・・・

東大宮ヘルパーステーション

☎ 048-688-5025 (直通)

訪問看護

看護師がご自宅まで訪問し、療養上の世話（看護）や診療の補助などを行います。

どんなことをしてくれるの？

健康状態の観察と助言／清拭、洗髪や入浴の介助／褥瘡などの処置／療養環境の整備／留置カテーテル、各種医療機器の管理と指導／介護者の健康管理と精神的支援／かかりつけ医の指示による処置・検査／理学療法士によるリハビリテーション など

お問い合わせは・・・

東大宮訪問看護ステーション

☎ 048-688-8388 (直通)

医療相談

病気やけがをすると、健康なときには考えなかった不安や心配事、患者さまやご家族の経済的・社会的な問題が起こってきます。そんなとき、当相談室をご利用ください。

たとえば・・・

- 当院の回復期リハビリ病棟の利用について
- 社会福祉制度（介護保険など）や施設、専門病院などの利用について
- 健康保険・年金など社会制度について
- 治療費や入院費、残された家族の生活費など、経済的な心配について・・・など

お問い合わせは・・・

東大宮総合病院

☎ 048-684-7111 (代表)

医療相談室

当院の 数字アラカルト

平成19年度の事業としては、まず、医療の質の担保として、優秀な医師の採用を積極的に行いました。その中でも常勤の病理専門医、放射線科専門医を招聘し院内での迅速診断が可能になったこと、内視鏡外科技術認定医の主任外科部長を招聘し、低侵襲の内視鏡外科手術が本格的にスタートしたこと、麻酔科医を増員し、365日24時間の手術実施が可能になったことがあげられます。これにより、他部門の整形外科、脳神経外科、泌尿器手術件数も増加し、昨年実績の80%UPの全身麻酔件数を得ることができました。また、療養病床32床においては、回復期リハビリテーション病棟として転換し、合計70床として稼働でき、他施設からの紹介患者様も多く受け入れることができました。基本方針の「基盤整備」については、診療材料の[※]SPDシステム導入により、在庫管理、経費削減の効率化を図ることができました。平成19年度の積極的な活動の結果、収入においては前年度対比で12%UPを達成することができました。

※SPDとは「Supply Processing & Distribution」の略語で、医療消耗品をはじめ各種の医療製品の供給、在庫、加工などの物流を一元化することで合理的な物品管理を図るシステムのことで、

外来患者数	756.5人/日
入院患者数	271.1人/日
在院日数	15.1日
ベッド稼働率	92.3%
救急件数	241.3件/月
手術件数(全床)	87.1件/月
心臓カテーテル検査件数	26.4件/月
内視鏡件数	329.5件/月

(平成19年度平均)

編集後記

新入職員52人を迎え、新年度がスタートしました。特定健診が始まり、5月には障害者病棟(51床)が一般病棟に移行しました。7月からは特集ページで紹介したDPC(診断群別額払い方式)が導入がされます。何かと動きのある平成20年度になりますが、今年度も広報委員一丸となって、いろいろな情報を皆さまに提供できるよう、取り組んで参ります。

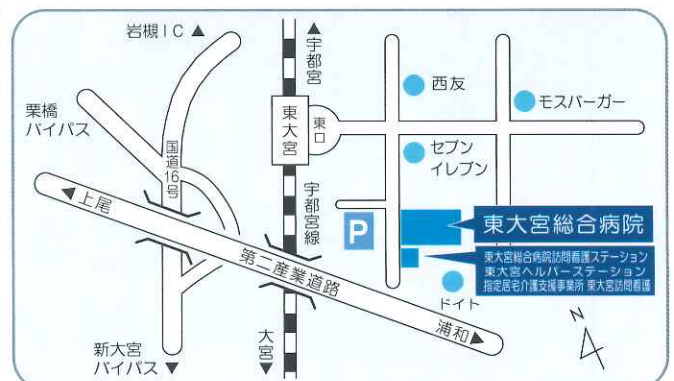
医療法人社団協友会



東大宮総合病院

〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮5-18

TEL 048-684-7111 FAX 048-686-3614



JR宇都宮線「東大宮」駅下車
東口より徒歩3分